

鶴岡

つるおか

冬号 2019 No.478

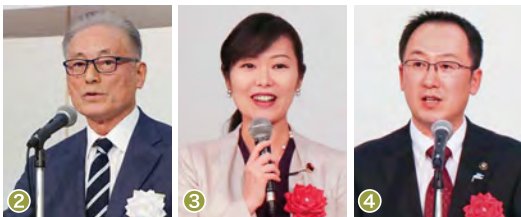
鶴岡商工会議所報

CONTENTS

- 1 平成31年 鶴岡商工会議所 新年祝賀会 講演会
- 2 会頭年頭挨拶 会頭 早坂 剛
【新年特集2019】亥年生まれインタビュー
- 4 TCCI NEWS
- 6 わたしのイチオシ!つるおか名物コンテスト
- 8 鶴岡商工会議所 青年部 創立60周年記念式典
- 9 TMO中心市街地商店街 ディスプレイコンテスト2018
- 10 鶴岡商工会議所 景況調査報告
- 12 Business Box

2019年1月9日
鶴岡商工会議所
新年祝賀会 講演会

つみらいを、 つかめ



- ① 講演する野田聖子 衆議院議員兼衆議院予算委員長
- ② 年頭のあいさつを述べる早坂 剛 会頭
- ③ 来賓祝辞 加藤鮎子 衆議院議員
- ④ 来賓祝辞 皆川治 市長
- ⑤ 交流会にて鏡開きをする野田議員と商工会議所役員

鶴岡商工会議所の新年祝賀会は1月9日(水)、グランドエル・サンにおいて野田聖子衆議院議員兼衆議院予算委員長をお迎えし、来賓含め約230人が参加。早坂会頭が年頭の挨拶をし、加藤鮎子衆議院議員と皆川市長の来賓祝辞に続き、野田衆議院議員が「みらいを、つかめ」と題して日本経済の見通しや地方創生の在り方などについて講演しました。

その中で、野田衆議院議員は、「旧来の政策、制度は人口が増加することを前提に組み立てられてきた。人口は減るものということを基準に物事を考えていかなければならない。民法など現在の日本の法律や制度は100年以上前の思想や考え方が根底にある。当時、女性は政治に関われず、女性の立場からの視点は盛り込まれていない。この根底から変えなければならぬ。また、地方創生も



人口を増やすことに主眼が置かれ、人の取り合いになっている。」と現状を分析。その上で「ピンチはチャンス。世界基準で見れば、農業も観光も伸び代はある。古い制度から離れ、寛容性を持ち、多様なものや人がつながることが必要であり、地方ならこれができるはず。人口減少を前提に変わっていく企業、行政だけが生き残れる。」と大胆な変革の必要性があると熱く語りました。

その後、交流会には、野田衆議院議員を含め多数が参加し、今年の抱負について語り合いました。